

広報

No. 138

くにみ

昭和59年12月15日

発行・編集 国見町企画課

新町長に菊地政治氏	2
国見町の在学青少年の社会教育調査	3
昭和60年度就学予定者	4～5
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8～9
公民館だより	10～11
わだい	12



'84  
12月

ボランティア

—竹の子文庫で子供たちとのふれあい—

小松よねさん

9

# 新町長に 菊地政治氏が 選ばれました



▲菊地政治新町長

任期満了に伴う国見町長選挙は、十一月十三日告示され、菊地政治氏・佐藤善右工門氏の両氏が立候補し、十一月十八日午前七時から町内五ヶ所で投票が行われました。

即日開票の結果、菊地氏が四千四百五十八票、佐藤氏が三千七百七十七票で、菊地氏が初当選しました。(投票率は九四・九九%)

また、同時に行われた町議会議員補欠選挙では、佐藤昌介氏が四千九百七十四票、鈴木伴治氏が三千五十票で、元議員の佐藤氏が返り咲きました。

## 就任あいさつ

国見町長就任に当り一言ご挨拶を申し上げます。

この度、大多数の町民の方々の信任を受け、町政を担当することになり、誠に身に余る光栄と存じます。

私はつい先日まで、町議会議員として二十五年有余、皆さま方と一諸に町政の一端に参画して参りましたが、この度の選挙を通じ、町民の皆さまに直接触れ合い、生の声を聞くとともに、私も公約を掲げ、町民の皆さんといろいろ約束をいたしました

が、政治を志さず者として責任の重大さを痛感し、今後の糧として新たな決意を以て、精一杯頑張る所存でございます。

今更申し上げるまでもなく、町民本位の活力ある、明るく住みよい町づくりを推進するため、渾身の努力を尽して参る覚悟でございます。

今後共一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。甚だ簡単ではありますが就任のご挨拶といたします。



11月27日、新町長が初登庁

# 国見町の在学青少年の

## 社会教育調査

—いま、国見町に住む在学青少年は、どんなことを考え、どんな悩みを持っているか、また、学校生活や塾についてどういふふうな考えをしているのか—  
このほど、在学青少年および一般成人の国見町社会教育調査のアンケート結果がまとまりました。

この調査は、町教育委員会が、町内の小学生（五年）百八十名、中学生（二年）八十六名、高校生（一・二年）七十一名の計三百三十七名と、各地区の二十歳から七十歳までの一般成人二百八十五名を対象とし、在学青少年については、自分自身、友人関係、家庭生活、悩みことなど十四項目、一般成人については日常生活の関心事、生涯学習、文化財、青少年の非行などを十三項目について、今年の一月から三月までアンケート調査を実施したものです。

調査集計、分析は、派遣社会教育主事の渡辺正誼先生が行い、公民館、町立小・中学校およびP・T・A、高校保護者会、部

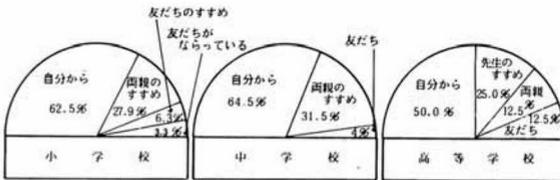
### 望ましい父母像

望ましいと思う父母の姿（全体）

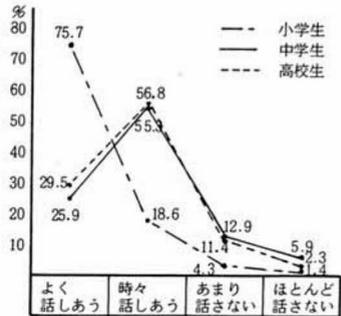
子どもの心を理解してきびしく 34.2%	子どもの心を理解してやさしく 38.2%	何事も自由に 12.3%	その他 12.8%
-------------------------	-------------------------	-----------------	--------------

落会、婦人会、地区婦人学級、公民館事業学級生との協力により調査が行われました。  
今回は、その中から、在学青少年の調査結果の一部をお知らせいたします。  
※なお、詳しい調査結果をお知りになりたい方は、町教育委員会までお問い合わせください。

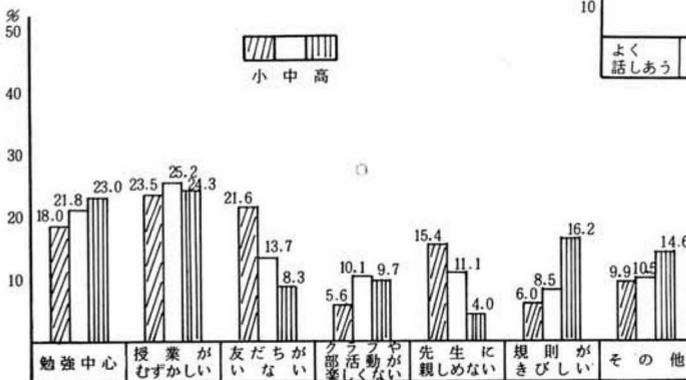
### 熟通いの理由



父母との話しあい（学校別）



学校が楽しくない理由（学校別）



## 第二回 町内一斉美化作業実施される

十一月二十五日、町青少年育成町民会議主催による、第二回町内一斉美化作業が行われ、各地区推進協議会の計画に基き、各地区で、道路清掃や集会所の周辺清掃などを行いました。

藤田地区では、午前七時から側溝のゴミあげや道路のゴミ拾いや草刈りなど、小坂地区では午前八時三十分从小坂小学校に集合し、各部落までの道路のゴミ拾いや神社などの清掃、森江野地区では、午前七時から道路

や集会所などの清掃、大木戸地区では、午前七時から子供の遊び場や道路の清掃など、大枝地区では、午前七時から神社や集会所の清掃などを、それぞれ、一時間ほど行いました。

この日は、風がやや強く肌寒い天候でしたが、各地区とも、子供からお年寄りまで、みんなで協力しあつて作業をしていました。

一人一人が捨てるゴミの量は少なくとも、それがたまれば膨

## 県北中で

### クリーンキャンペーン

十一月十日、県北中学校では、全校生徒と職員五百六十五名が総出で、午前八時三十分から、町内の主要道路や観月台公園などのゴミ拾いを午前中いっぱい行いました。

このほか、カーブミラー五十七ヶ所と、福島交通バス待合室のガラスがき、公民館周辺の除草なども行いました。

この結果、二下ントラック十台分ほどのゴミが集まりました。道路は、私たちがらとって、生活に密着していますので、いつもきれいで安全にしておきたいものです。自分の手で、自分の危険なめにあわせるような、あきカンやゴミのポイ捨てはやめ

ましょう。



▲道路わきのゴミ拾いをする県中生 (大木戸地区)



▲ゴミ拾いをする小学生 (小坂地区で)

大な量となつてしまします。みんなでもナーを守つて、すみよいふるさとをつくりましょう。

武田 伸也 奥山 明典  
吉田 雅俊 牧野 靖典  
佐藤 康憲 遠藤 貴正  
秦 清仁 藤田 寛章  
半澤 隆加 藤原 鏡司  
永井 敦志 佐藤 孝法  
後藤 賢一 鈴木 寛博  
徳江 宏行 齋藤 正博  
徳江 正文 佐藤 雄介  
徳邊 昌彦 古川 隆記

### ●藤田小学校77名 (男37、女40)

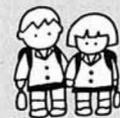
来春小学校に入学される百五十八名のみなさん、おめでとうございませう。  
健康に十分注意して、入学式には、みなさんそろつて元気な顔を見せてください。  
記載もれや誤字などがありましたら町教育委員会までお知らせください。 ☎八五—二—一 (敬称略)

阿部 夏樹 秦 祐子  
佐々木 久美子 上林 美里  
武田 亜弓 小林 絵美子  
牧野 友美 齋藤 友嘉  
尖戸 智美 八巻 里枝  
吉野 友江 三巻 郁枝  
菊地 真由美 渡邊 美佳  
佐藤 弘美 菅野 幸子  
佐藤 真理子 村上 いずみ  
浅野 久美子 本田 若子  
加藤 美香 東海林 順子  
國分 有子 松浦 順子

松浦 睦子 高橋 玲子  
齋藤 梨絵 田中 美保子  
村上市と子 秦 祐子  
阿部 夏樹 秦 祐子  
佐々木 久美子 上林 美里  
武田 亜弓 小林 絵美子  
牧野 友美 齋藤 友嘉  
尖戸 智美 八巻 里枝  
吉野 友江 三巻 郁枝  
菊地 真由美 渡邊 美佳  
佐藤 弘美 菅野 幸子  
佐藤 真理子 村上 いずみ  
浅野 久美子 本田 若子  
加藤 美香 東海林 順子

## 昭和六十年 就学予定者

(昭和五十三年四月二日)  
五十四年四月一日生まれの方





# 交通死亡事故 相次いで発生

国見町では、五十六年十一月二十八日以来、交通死亡事故〇〇日数を継続しておりましたが、十一月二十七日、さらに同月三十日と連続して死亡事故が発生し、継続日数も千九十五日でストップしました。

次のことをよく守り交通安全を図りましょう。  
 ○車を運転する時はシートベルトを着用し、バイクは五十ccでもヘルメットをかぶりましょう。  
 ○駐車違反は追突事故や子供のとび出しなど大きな事故原因になります。絶対にやめましょう。

○年末になると飲酒の機会が多くなります。飲酒運転は絶対やめましょう。  
 ○重大事故は速度の出しすぎによるものが大多数です。五キロ減速で安全運転をしましょう。

○自転車の無灯火が多くなっています。夕方は早めにライトを点灯しましょう。  
 ○積雪、凍結時は特に車間距離を十分にとり、減速走行を心がけましょう。

## 年末年始の交通事故 防止運動期間

昭和五十九年十二月十五日  
昭和六十年一月十四日



▲11月30日に発生した交通死亡事故

## あつかし俳句会が 記念句集を寄贈



会長の一怡さん  
熊田

あつかし俳句会（熊田一怡会長）では、会発足十五周年を記

念し句集を作成し、このほど、町に九冊寄贈してくださいました。

あつかし俳句会では、会発足三周年、十周年と、過去二回記念句集を発行し、今回で三回目の発行となりました。会員二十八名がそれぞれ費用を出し合い、二百部を作成したもので、会員全員の句、約八百句が載っています。

町では、寄贈していただいた句集を、各小中学校、公民館などに備えつけて、役立たせることにしました。

## 菅野巡査が赴任

小坂・山崎（二部）を担当



菅野巡査

十二月二十七日から、藤田駐在所に、宗俊巡査の後任として、菅野尊典巡査が赴任しました。菅野巡査は、東和町出身で二十四歳。柔折警察署外勤係からの転任です。

地区のみなさん、よろしくお願ひします。

## 身近にある野草薬草

⑥

### キカラスウリ

北海道南部から本州、四国、九州に自生する二年草。特に東北地方に多く分布します。カラスウリに似ていますが、花はカラスウリと異なり、春から秋にかけて、日没後のまだ周囲が明るいうちに開花します。

果実が黄色い楕円形をしているところや葉に毛がなく、光沢がある点もカラスウリと区別できます。

実が黄色いところから名づけられました。

根、種子とも秋に採取します。根は外皮をはぎとり、水洗いたのち、乾燥を早めるため輪切りにして日干しにします。種子は熟した果実を水の中で砕いてとり出し、日干しにします。

解熱・せき止めに、一日量として乾燥したキカラスウリの根（括弧根）十五グラムを水四



百ccで煎じ、二回に分けて服用。母乳の出をよくするために、乾燥したキカラスウリの種子（括弧仁）五〜八グラムを煎じて服用します。

▼食用▲  
 若葉は春先、手でつまとります。果実は十一月ごろ、はさみかナイフで切りとります。料理、葉は生のまま、きれいに水洗いし、水けをよくきってから衣をつけ天ぷらに。または、塩一つまみを入れたたっぶりの熱湯でゆで、冷水にとって手早く冷まし、水けをきり、ごまあえ、からしあえ、油いため。

熟した果実は砂糖といっしょにホワイトカーに漬け込み、熟成させて果実酒を作ります。（山野草カラー百科から）

# ふるさとの文化財

## 町指定史跡

### 大木戸窯跡群

菊池利雄

⑨

等に用いられる。  
須恵器は、焼きものに適した粘土と、燃料が豊富に得られる川岸段丘などの斜面を利用した昇り窯と呼ばれる窯で焼かれており、大木戸窯跡群の立地条件も、これらの要件を満たしている。

東北地方で、須恵器の生産が始まるのは、五世紀にさかのぼるといわれるが、一般的になるのは八世紀初頭頃からで、福島市の小倉寺高畑窯跡出土の須恵器はこの時期のものとして、大木戸窯跡群はこれに次ぐ八世紀中期頃、伊達町の瀬戸場窯跡群は八世紀後期頃からのもので、九世紀になると、東北地方での須恵器生産は各地で盛んになってくる。

高度な工芸技術を伴ったこの窯での須恵器の生産は、東北地方でも早い時期のもので、国見町を中心として展開された伊達郡西部の古墳群や、大規模な条里遺構とともに、この

地域の古代史を解明する上で貴重な遺構である。

大木戸窯跡付近は、古くから須恵器片の散布がみられていたが、昭和四十七年三月、国見町教育委員会では、町史編さんの資料収集のため、宮城県多賀城資料調査研究所の工藤雅樹氏に依頼して、発掘調査が行われた。この時出土した須恵器片多数は現在、町の教育委員会に保管がなされている。

窯跡群は、現在大部分が新堤の水面上にあって、窯の頂上部がわずかに地上部に現れているにすぎないが、昭和四十八年三月、町の史跡に指定されている。参考文献 国見町史一・二巻 国見の文化財第三集大木戸窯跡発掘調査、伊達窯跡群細分調査報告。

厚樫山の南東麓部、大木戸の新堤(字中野窪)西岸斜面には、八・九世紀の奈良・平安時代初期にかけて、須恵器の生産がなされた四基からなる大木戸窯跡群がある。  
須恵器は、古墳時代後期の五世紀頃、朝鮮半島から製作技法が伝えられた焼きもので、陶部と呼ばれる古代の部民によって生産がなされていたといわれる。前時代からの弥生式土器のものがれをくむ土師器は、野焼きといわれる八百度前後の温度で焼かれた、赤味があった素焼きの土器であり、須恵器は、窯窯をもちいて、千二百度以上の高熱で焼かれた、灰色または青灰色の硬くて実用性の高いもので、壺・瓶・高杯など日常の生活に使用される容器や、古墳の副葬品



### ■表紙

カメラ歳時記  
「ボランティヤ」

### 竹の子文庫で

### 子どもたちとのふれあい



昭和五十四年から、自分の家を開放し、家庭文庫を開いている方がいます。西大枝字原町三一の小林よねさん(三十四歳)です。

よねさんは、娘の麻美さん(大枝小六年)が一年生の時、この文庫を始めたそうで、当時、公民館で行っていた母と子の公民館活動で大枝地区の指導者としても活躍されました。母と子の公民館活動の指導者は、三年間で終了し、現在は竹の子文庫に情熱をかけています。「この文庫は、一年間は大枝

文庫として行ってきたんです。母と子では一年から三年生までが対象ですので、文庫は二年生以上の生徒を対象としてきました。当時六年生だった女の子がこの竹の子文庫の名前をつけてくれたんです。以来、この名前が続いています。」とよねさん。現在は、本の貸し出しはあまりせず、もっぱらゲームや折り紙、スポーツなどをしていきます。月一回か二回、土曜日の午後を利用していますが、熱心な子が増え、なかなか集まらないとのこと。

「たとえ二、三人しか子供が集まらなくても、折り紙をしたリ、天気が良ければ外でドッジボールなどしています。文庫といっても、本の貸し出しより子供といっしょになって遊んでいるという感じですね。でも、それでいいと思っています。今後、少しでも子供のためになるよう続けていきたい。」と熱っぽく語るよねさんです。



### 昭和六十年度 国見町奨学生募集



当町では、故山田長一氏が町出身者の育英・奨学のために寄付された財産などをと、奨学金制度を実施しています。六十年も、次の要領で奨学生を募集します。希望者は町教育委員会まで申し込んでください。現在、中学三年生で希望の方は県北中学校へ申し込んでください。

#### ◆修学資金(毎月)

○募集人員 若干名  
○金 額 高校八千円以内  
高専一万円以内

#### ◆入学支度金(入学時に貸与、一年以内に月賦で返還)

○募集人員 若干名  
○金 額 高校五万円  
大学二十万円

(他)国、県や他の団体から同種の奨学資金の貸し付けまたは、給与を受けていないことが前提となります。

#### ◆申し込み期間

昭和六十年一月七日から一月二十五日まで。

※くわしくは、「かいらん」をご覧ください。

### 藤田保育所の 入所児童募集



藤田保育所では、昭和六十年度の新入児童を次のとおり募集いたします。

#### ○受付期間

一月二十一日(月)から一月二十五日(金)八:三〇~十七:〇〇

#### ○受付場所

国見町役場

#### ○対象年齢

〇歳から就学未満児

#### ○募集定員

一〇〇名

#### ○持参していただくもの

印鑑

※詳しいことは、藤田保育所(☎八五一三三四)か役場住民課福祉係(☎八五一二一一)内線四二におたずねください。

### 昭和六十年年度 幼稚園児を募集



国見町教育委員会では、就学一年前の幼児を対象として園児を募集いたします。

入園希望者は、左記のとおり申し込み下さい。

申し込み場所 藤田幼稚園、森江野幼稚園(入園願書等は各幼稚園にあります。)

申し込み期間 六十年一月十日(木)~一月十二日(土)(なお十日、十一日は午後から、十二日は午前中に申し込み願います。)

※くわしくは、「かいらん」をご覧ください。

### 献血ありがとうございました

(十一月二十八日献血者)

敬称略

#### (一般協力)

実 沢 正 美 徳 江 紀 江 子  
吉 田 は る い 本 多 イ ト  
廣 居 重 夫 徳 江 の お  
菊 地 孝 一 佐 藤 文 子  
佐 藤 直 子 八 巻 民 栄  
後 藤 スズ子 佐 久 間 正 男  
大 津 森 治 後 藤 繁 雄  
佐 久 間 正 弘 夫 戸 隆 一  
八 巻 ア キ 森 林 喜 助  
齋 藤 規 雄 佐 藤 英 子  
徳 江 征 一 近 江 幸 江  
齋 藤 恵 美 子 齋 藤 福 子  
齋 藤 勇 子 半 沢 千 枝 子  
佐 久 間 ツ ャ 子 高 橋 正 志  
吉 田 英 夫 高 橋 正 志  
稲 村 秀 子 武 田 ア ヤ 子  
村 上 美 紀 子 大 泉 光 子  
清 野 秀 夫 高 橋 千 秋  
佐 藤 恵 美 子 佐 藤 武 比 古  
徳 江 博 典 佐 藤 敏 夫  
松 浦 惣 一 菊 地 政 志  
穂 苺 栄 治 秋 葉 多 希 子  
吉 田 と き 子 木 好 秋  
佐 久 間 憲 一 伊 藤 信 正  
(国見町協働)

#### (森江野小学校)

熊 坂 文 男 鈴 木 秀 雄  
佐 藤 牧 衛 石 幡 清 朗  
佐 藤 祐 子 芝 田 俊 久  
堀 内 孝 夫  
(生協内見店)

#### (清水製作所)

佐 藤 ゆ か り  
秦 善 五 高 橋 成 一  
後 藤 清 良 林 和 広  
萩 原 徳 人 太 斉 敏 博  
土 屋 広 美 曳 地 す み え  
(国見町役場)

#### (国見町役場)

反 野 キ ミ イ 高 橋 庄 次  
菅 野 フ ク 高 橋 直 子  
横 山 フ ク  
小 池 芳 男 大 波 信 健  
佐 藤 和 浩 引 野 由 朗  
大 藤 智 義 高 橋 喜 久  
小 野 智 義 高 橋 喜 久  
羽 根 田 孝 司  
協力者 一 二 三 名  
採 血 者 一 一 一 名

製造事業所の皆さんへ

昭和59年工業統計調査  
石油消費構造統計調査

通産省発行の「上の2つの調査をばり3月以降に行います。調査の対象となった事業所には、事業開始に付て調査票が送付されます。調査の内容は国勢調査の目的には使われませんので、安心してご協力くださるようお願いいたします。





国見町公民館  
☎85-2676  
(有) 4156

# マジックだここに挑戦

## 少年仲間づくり教室

少年仲間づくり教室の「たこつくり、たこあげ」は、十二月九日午前九時から、教室生四十三名が参加し、公民館で開かれました。

福島市渡利の伝統がん具研究家の羽田善一さんを講師に、サ



▲なかなかの手さばきです

イクルばけつと会員の協力で、上下どちらになっても落ちないマジックだこつくりにチャレンジしました。

羽田さんに、たこの特徴や楽しみ方について説明を聴いたあと、グループに分かれて、さ



▲「やったー、うまくあがったー」

そく作り方を開始。ヒノキを細く削ったものを骨組みに使い、和紙を張り合わせ、ピアノ線を引いて引き糸をくくりつけて作るのですが、バランスが難しく、なかなかの大仕事。それでもグループで協力しあいながら午後一時近くに全員が完成しました。

昼食のあと、山崎運動場に場所を移動し、さつそく自分たちの作ったたこをあげて楽しめました。幸い風もあり、たこは空高く舞いあがり、子供たちは歓声をあげていました。中には、百メートルあるたこ糸いっぱい

あがる子や、バランスがとれずなかなかあがらない子供もいましたが、最後はみんなあがることができ、ひと足早い正月気分を味わいながら大喜びしていました。

今回の少年仲間づくり教室は、来年の一月十三日に、高湯スキー場で「雪あそび」を行う予定です。

### お詫びと追加

十一月号十ページの町内一周駅伝競走大会の記事中、七区の区間賞が抜けていましたので、お詫びして追加いたします。  
七区 斎藤松男(源衆山)

## 文化団体紹介

### 国見ダンス愛好会

代表 松浦利枝

優雅で清らかなワルツ、軽快なテンポでハードにジルバ、楽しく陽気にサンバ、りりしくタンゴ、軽やかにチャチャチャ；ダンスは、老若男女を問わず「歩ける人は誰でも踊れる」と言われるようにステップさえ覚えれば、簡単に踊れ、音楽に乗って、いつでもどこでも楽しめる利点があります。

国見ダンス愛好会は、昭和五十六年の町民学校での開校を基にソシアルダンスの魅力にひかれた者たちが集まり結成されました。

この会の目的は、音楽にあわせ楽しく、そして健康的に誰とも踊れることです。毎週水曜日七時半から二時間、講堂において、県北ダンスクラブ連合会黒羽唯一会長の指導により行われています。初めは、なかなか思うように体が動かせないので、自信がなくても堂々とステップを踏めばきれいに見えてきます。まずは、音楽を聞き体で覚え、そして仲間同士お互いに見て、良い所は吸収し、良く

ない所は、注意することにより技術の向上にもつながっていくと思っております。  
今のところ会員は、約三十名



その内、三分の二は女性でパートナーが少ないのが寂しいのですが、それぞれに生き生きと楽しく意欲的に取り組んでいます。今年も町文化祭でのダンスパーティーでは、県北各地からダンス愛好者が集まり、音楽に乗り、楽しくステップを踏むことができました。そして、多くの人たちのダンスを見ることで、刺激され練習にも熱が入ってきたようです。

健康維持として、毎日毎日の生活のリズムとして、少しでも多くの人たちにダンスの良さ、楽しさを知ってもらいたいと考えています。

### 町民学校だより

後期の町民学校として3コースを今回開校しました。

◆和紙人形教室は毎週火曜日、十二月十八日までの六回にわたって開校しています。生徒は女性の方だけ十九名。夜七時から当初九時までの予定でしたが九時半まで頑張っています。閉校までに四つの作品完成を目標に細かい作業に励んでいます。



▲熱心に和紙人形づくりをする参加者のみなさん

◆謡曲教室は毎週金曜日、十二月二十一日までの六回にわたって開校しています。生徒は女性三名、男十六名の計十九名。公立藤田総合病院の坂東事務長を講師に夜七時から九時までの二時間勉強しています。生徒は昨年からの方がほとんどですが謡

曲独特な音符に苦勞し、帰宅してからはテープレコーダを先生に預けています。

### 町内史跡めぐりの記

公民館主催による歴史教室生二十数名は予定の車です。まず石母田の供養塔に詣でた。この石塔の書は元の佛化僧一山一寧の筆(国の指定)次は佐藤氏の宅地に接しての石母田城跡、数百年の歴史を秘めて光る内堀の水は紅葉をうつして美しい。

発掘調査で日の目を見た岩淵遺跡、ここは県内外の見学が多いとか、今から四四五百年前の住居跡、右に牛沢川をひかえて魚介が豊富だったとは羨ましい。下って光明寺初代伊達朝宗夫人の墓所、重い五輪塔は赤だきの玉垣で守られている。湧水で有名なお流の明神様。池の底まで見える清水が魅力。昔から小学生遠足の拠点、数多い子供達のふるさと意識を深く印象づけたことであろう。森山古墳をあとにして、小坂峠の名屋で信達平野を一望して茶物おでんと熱いうどんを腹をみした。降って伊達家十三代成宗の墓。なぜこんな山裾にの疑問に菊池さんは、さすが伊達家も相続の事で、ここに松音寺を建て隠居しここ

で生涯を閉じたからと。次は今春県指定の塚野目八幡塚古墳、徳江観音堂、沼田神社の精巧な彫刻をかい間見て再び公民館に引きあげて解散した。

郷土史研究会長 佐久間直次



▲伊達朝宗夫人の墓で

### 塩川町公民館訪問

塩川は名のとおり川の多い町である。猪苗代湖の水、会津の山々から流れ出る水が、町の周辺を流す。

去る十一月二十八日、国見町の社会教育委員、公民館運営委員、職員計十七名は、塩川町の公民館で研修会を開きました。

人口約一万五千人、今年度優良公民館として文部大臣から表彰されています。社会教育の行政や事業等お互いに意見を出し合

い研修を深めるねらいである。われわれ一同を教育長、館長さんをはじめ関係者総動員で暖かく迎えてくれました。各担当者が町の概要や社会教育事業の説明があり、問題点を出し合い意見を交換しました。事業そのものは国見町と大差はなく、青少年、婦人、成人高齢者教育など生涯学習の実現に向って一人一人学習、奉仕、健康づくりに努力している姿がみうけられました。

施設の面では、福祉センター(公民館)、町民体育館、老人憩の家、生きがいセンターが箇所に建設されています。文化財を保存している展示室、図書室のみごとき、高齢者が気楽に利用したり実習に励むことのできる憩の家やセンター、町民を大切に扱っている行政のきめこまかさが感じられました。

町の店先ののれんの風情、自由民権運動の発祥地としての自負、熱心な関係者、共に社会教育振興のためがんばることを誓い合い会津路を後にしました。

### 県婦人学級生大会 参加報告

今年度の県婦人学級生大会は、雨雪まじりの十一月二十日相馬市で開催されました。

町の婦人学級生四名と職員計

五名で参加、運転手さんのみことなハンドルさばきで雪の靈山を越える。会場には、県内の各地方から参集した学級生約四百人余。「生涯の各時期における婦人の学習のあり方」のテーマのもと、幼年期、少年期、青年期の子どもをもつ婦人等それぞれの分科会に参加した。自分たちの学級の活動報告、問題点、家庭や地域の婦人の役割など活発で真剣な協議が続く。私たち町の婦人学級生も、参加した以上必ず意見を述べることを実行に移し、積極的に話し合いに加わり有意義な時を過ごしました。最後に「婦人の今日的な学習課題を考える」の講演があり第一日を終了しました。

来年度は福島市で開催の予定、もっと参加人数を増やし学習することを確認しました。

### 奇 贈

- 押絵 一点
- 山崎 早田精さん
- 造花ケイヌ入外 一点
- 貝田 高橋ナヲさん
- 図書「趣味の園芸」百三十五冊
- 藤田 佐藤勝太郎さん

○図書「あつかし十五周年記念句集」一冊  
あつかし俳句会

わ  
だ  
い



### 徳江大橋が完成

地元町民らが喜びの  
渡り初め

国見町と梁川町を結ぶ広域農道橋として、徳江大橋の阿武隈川に建設中だった徳江大橋が完成し、十一月二十七日、午前十一時から完工式が行われました。式には、友田副知事、菊地政治町長、工事関係者、地元住民など約千名が出席し、神事後、友田副知事らのテラブカストと同時に、菊地町長らがくす玉をわり、実沢平作・サツさん夫妻(第八)佐久間貞吉・カネさん夫妻(川内)の二組の三代夫婦を先頭に全員で喜びの渡り初めをしました。

徳江大橋は、去る五十五年から五年がかりで建設されたもので、全長三百十七・二メートル、幅九メートル(車道六メートル、両側一・五メートルの一段高い歩道)で、総工費は十三億二千二百万円。

この橋の完成で、国見、梁川

両町の往来はかなりの短縮となり、農産物の流通要路、あるいは生活道路として大いに役立つことでしょう。



▲渡り初めをする町民たち

### 野田希恵さんが 来庁

国見町出身で中国残留孤児の野田希恵さん(中国名朱桂琴さん、四十五歳)が、十一月二十六日、姉の長沢芳江さん夫婦(北海道北見市在住)らとともに役場を訪れました。また、当時

満州から姉の芳江さんと兄の将美さん(ブラジル在住)を引き上げてきた後藤松男さん(第十二)も同席しました。

希恵さんは、昭和二十一年八

月、七歳の時に中国人に預られ養父母に育てられ、今回の来日で、念願の姉妹確認となったものです。

希恵さんは、この日、親類の野田長四郎さん(並柳)宅を訪れ、亡母キクさんの墓参りをし、翌日、芳江さんの住む北見市へと向かいました。



▲歓談する右から貴恵さん、芳江さん

### 大木戸小で りんごを収穫

十一月二十八日、大木戸小学校で、五、六年生四十四名全員によるふじりんごの収穫を行いました。

勤労体験的学習の一環として



▲協力してりんご取りをする5・6年生

大木戸小学校では、ふれあいの時間”を設け、子供たちに、勤労と収穫の喜びを味わってもらおうと、昭和五十五年からは始めて今年が五年目。四月に花粉づけを五、六年生が行い、六月には袋かけ、十月には袋取りを行い、この日の収穫となったもので、P・T・Aの協力を得、子供たちが丹精こめて実らせたりんごは、前日の強風にもめげず、枝もたわわになつていました。この日の収穫は、三本の木で合計千個くらい。学校では、全校生で分かちあうとのこと、子供たちは、自分たちの手で作ったおいしいりんごに舌つづみをうつつでしょう。

### ～国見町民憲章～

1. あたたく、たすけあう町をつくりましょう。
1. 楽しく働いて、豊かな町をつくりましょう。
1. すこやかで、よるごびに生きる町をつくりましょう。
1. 力をあわせて、すがすがしい町をつくりましょう。
1. 教育と文化を高め、希望にみちた町をつくりましょう。

### 編集日記

○今年も残すところあとわずかになりました。ふりかえつてみると、徳江大橋の開通、交通事故死亡事故連続発など明るいニュースや、暗いニュース、また、何かと話題をよんだ新札発行など、いろいろなことがありました。○ところで、これから年末年始にかけて、何かと忙しいとは思いますが、この一年間をふりかえってみることも必要だと思えます。そして、いいお正月を迎えたいですね。

○今年一年お世話になりました。来年もよろしく願っています。S